

福島県阿武隈山地及び浜通り地域
再生可能エネルギー連系用共用送電線網建設工事
(再生可能エネルギー賦存量調査委託事業)
審査基準

令和5年(2023年) 1月

福島送電株式会社

目 次

- 1 目的
- 2 審查方法
- 3 契約交渉

1 目的

本審査基準は、福島県阿武隈山地及び浜通り地域再生可能エネルギー連系用共用送電線網建設工事（再生可能エネルギー賦存量調査委託事業）公募要項「10 審査基準」に掲げる審査基準を定めるものです。

2 審査方法

参加資格が認められた参加者から提出された提出書類に基づき、以下により審査を行います。

2.1 提出書類の確認

事務局において、公募要項に定めた提出書類に不備がないか確認します。なお、不備不足があった場合は事務局で対応を判断します。

2.2 審査基準及び配点

受託候補者を選定する審査基準は、別紙「福島県阿武隈山地及び浜通り地域再生可能エネルギー連系用共用送電線網建設工事（再生可能エネルギー賦存量調査委託事業）審査基準」のとおりとし、以下の項目で評価することで受託候補者を選定します。評価は、審査基準の評価項目ごとに採点して行います。

なお、必要と判断した場合は、参加者へのヒアリングを行います。

- ① 調査費用（見積金額）の妥当性
- ② 企画提案内容（調査方法）の妥当性
- ③ 業務遂行能力（業務体制・作業スケジュール）の妥当性

2.3 契約相手方候補者の選定

評価得点の6割以上を採用基準点として、総合点が最も高かった提出者を受託候補者に選定します。

3 契約交渉

受託候補者を公表し、公募要項に定める期間内に業務履行に必要な具体的な協議を行い、協議が整った場合は、契約書を取り交わすものとします。

なお、協議において価格低減があった場合は、改めて見積書を徴取して契約を取り交わすものとします。

また、受託候補者と協議が整わない場合は、次点候補者と改めて協議を行います。